

利用者を引き寄せる棚作り

谷島屋営業本部 副本部長 野尻 真

●書店における棚作り 1 ……フェアを行い、利用者の興味を引く

【1】1年を通じ各種行事にイベントを組み合わせ、定期的なフェアを開催。

①入園・入学・入社時

→「小学1年生」などを集めたフェア

→語学テキストをまとめたフェア

②クリスマス

③エアフェスタ（浜松航空祭）（図1）



図1 航空祭特集

【2】最近話題の出版社、著者を取り上げる。

①ミシマ社フェア、

②池井戸潤（半沢直樹）フェア（図2）

【3】時事性フェア

①直木賞候補、直木賞受賞作品のフェア

ノーベル賞候補の作品→村上春樹作品

フェア（図3）

②本屋大賞フェア、静岡書店大賞フェア

③事件フェア 最近起こった事件を題材とする

④追悼フェア 故人の追悼に合わせ展示（図4）



図2 池井戸潤フェア



図3 村上春樹作品フェア

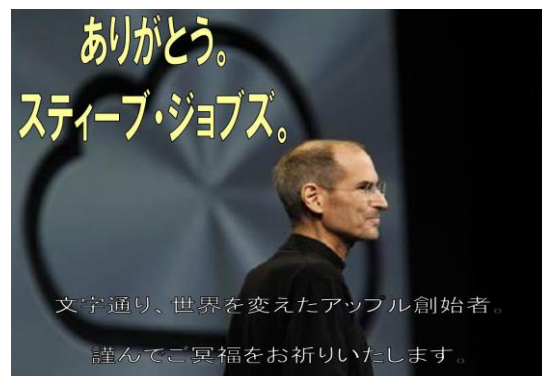


図4 スティーブ・ジョブズ追悼フェア

【4】書店独自のフェア

- ①店長の本棚 店長として選定する作品の棚をつくる。(図5)
- ②顔本フェア 表紙が顔の本を集め展示する(図6, 7)
- ③お気に入りの作家フェア
- ④言葉縛りの棚 キーワードを3~5出し、共通する項目を1つテーマとしたフェアを作る。

※ 顔がみえる棚、利用者に手にとってもらおう棚づくりを心掛ける



図5



図6



図7

●書店における棚作り2・・・POP、デコレーションの活用

【1】季節ものの飾りつけや立体的な配列で利用者を引き付ける。

【2】POPの利用

本のPOP

予約促進POP

発売告知POPなど

印象的な文言のPOPを使う。

スタッフの写真を入れる等作成者の顔がわかるようにして親近感を出す。



●ワークショップの開催

最後に4, 5人グループごとになり、何冊か用意した本から好きな本や気になる本をランダムに1冊選び、お互いに限られた時間で内容を紹介する。そこから1つのテーマを導き出し、各グループで1つのフェアを作り、発表する。それぞれの資料の中から共通したテーマを導き出す読書法を体験するワークショップを行った。



講演中の野尻氏